

# Forest Terminal

## - 地域木材流通拠点としての多賀大社前駅貨増築計画 -

地域産材の流通拠点としての CLT 貨物駅舎による地域沿線の再編計画を提案する。水平方向の動線確保のために、面材としての CLT ではなく、CLT を線材化し、柱や梁として活用する。また、多賀町が推進する森林循環事業とも呼応する施設として、木材産地としての川上での資源循環と川下での資源循環のあり方を提案する。

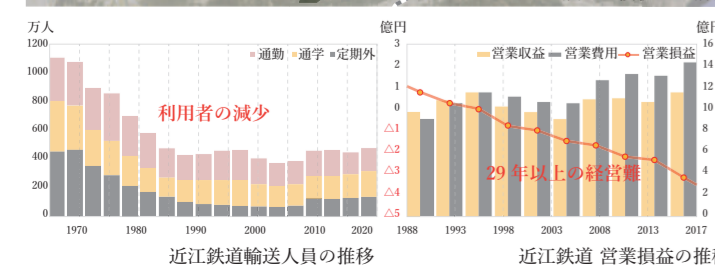


本提案で達成可能な SDGs



### 01 対象敷地 - 滋賀県犬上郡多賀町 -

- 近江鉄道多賀大社駅 -



- 対象敷地周辺環境 -



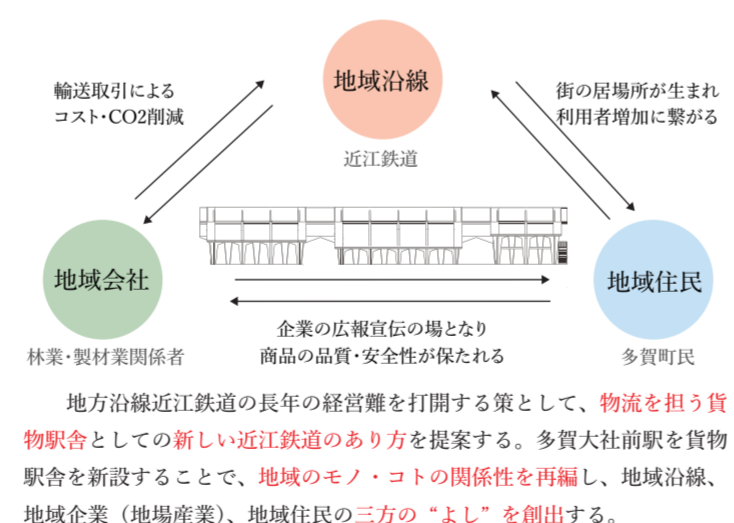
滋賀県の地域沿線「近江鉄道」の終端駅「多賀大社前駅」は多賀大社への参拝客や観光客をターゲットとして整備された駅である。かつては、周辺に立地する工場へと貨物線路が延長されており、地域のモノ・コトが集まる中心的な場所だった。現在でも、絵馬通り、多賀大社へ連続的にアクセスできる観光拠点である一方で、近年では鉄道の利用者が減少し、1994年以降、28年間赤字経営が続いている。地域沿線の経営難に関する問題は全国的な課題であり、打開策を模索する必要がある。

Site

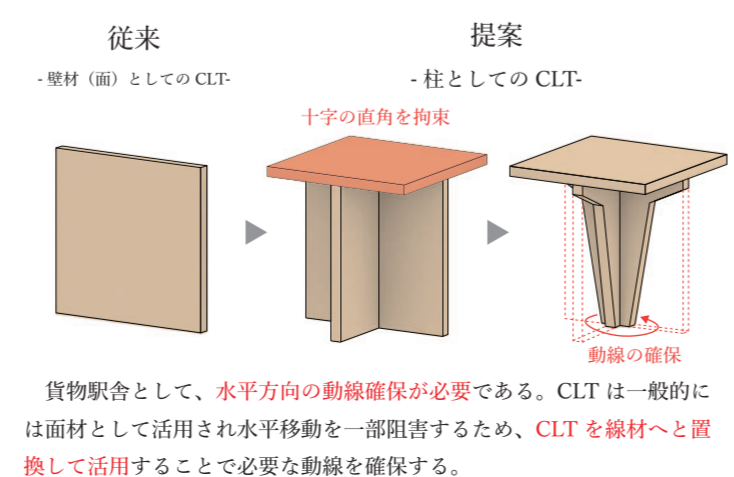
### 02 コンセプト

Concept

- “三方よし”でつくる貨物駅舎 -



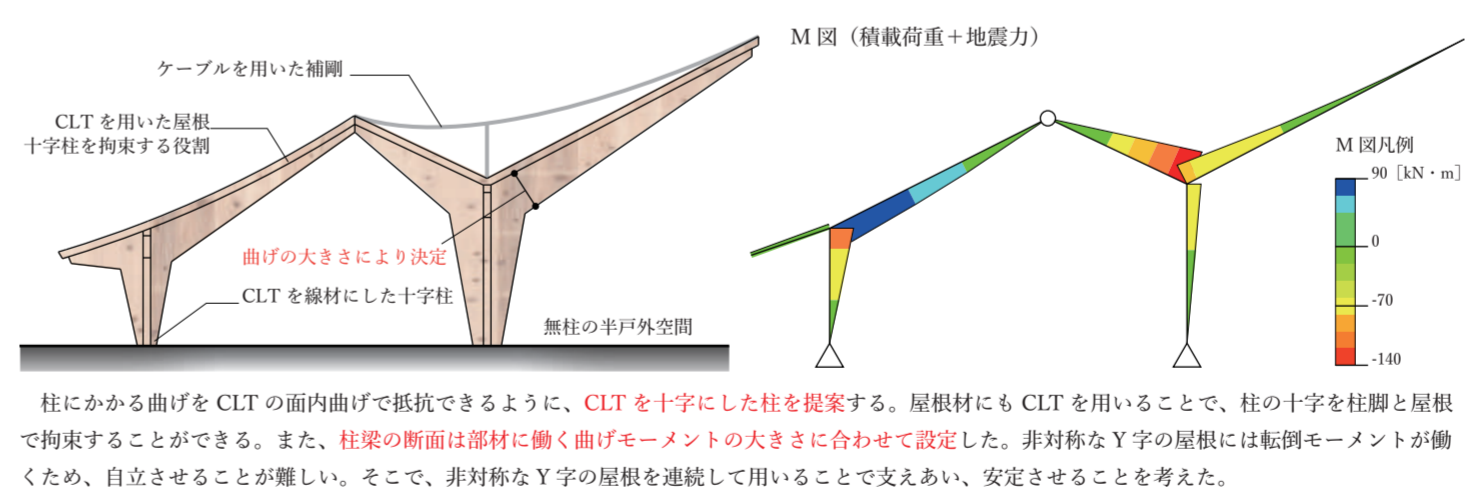
- 線材としての CLT -



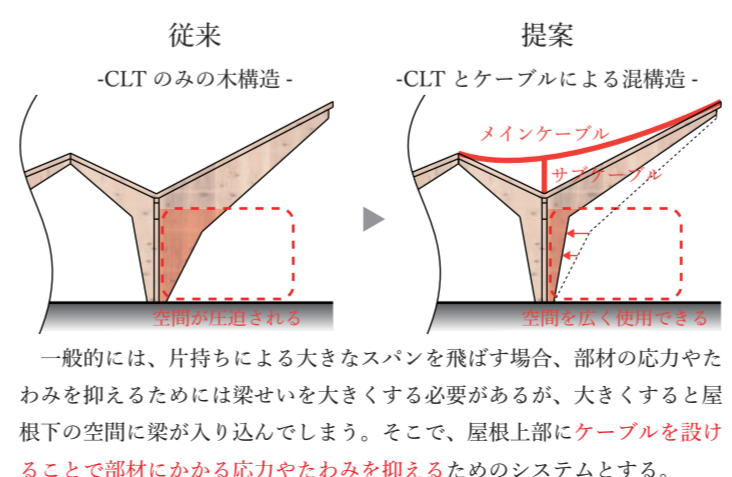
### 03 構法・構造計画

Construction method

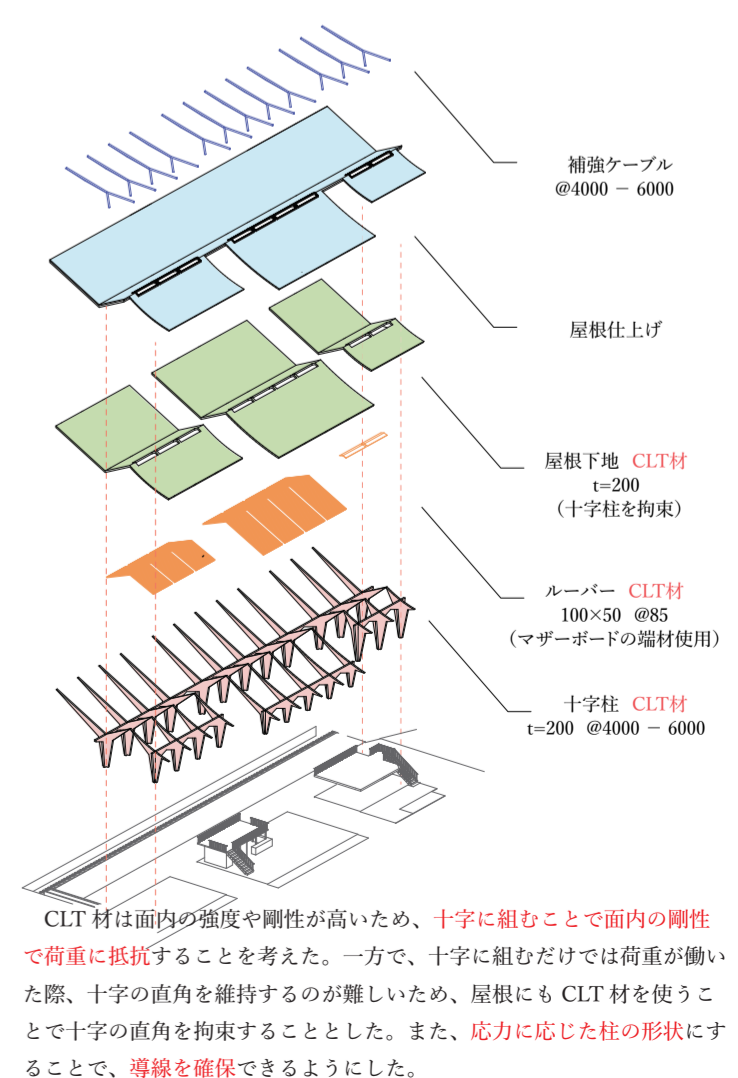
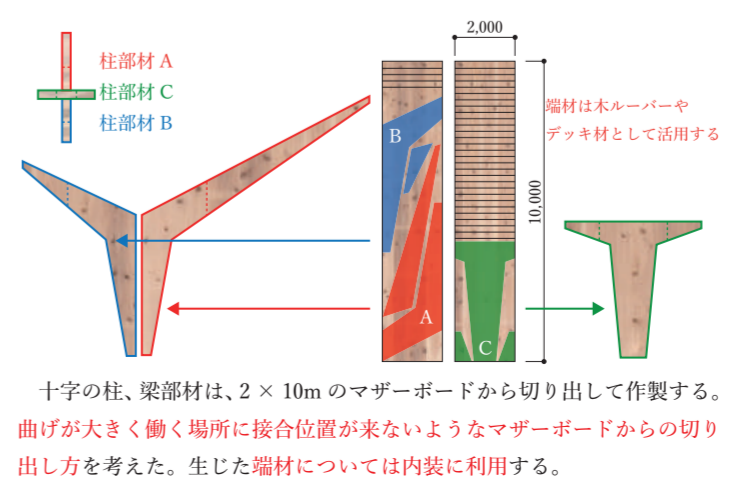
- 構造全体計画 -



- ケーブルを用いた CLT の補強 -



- マザーボードからのプレカット -



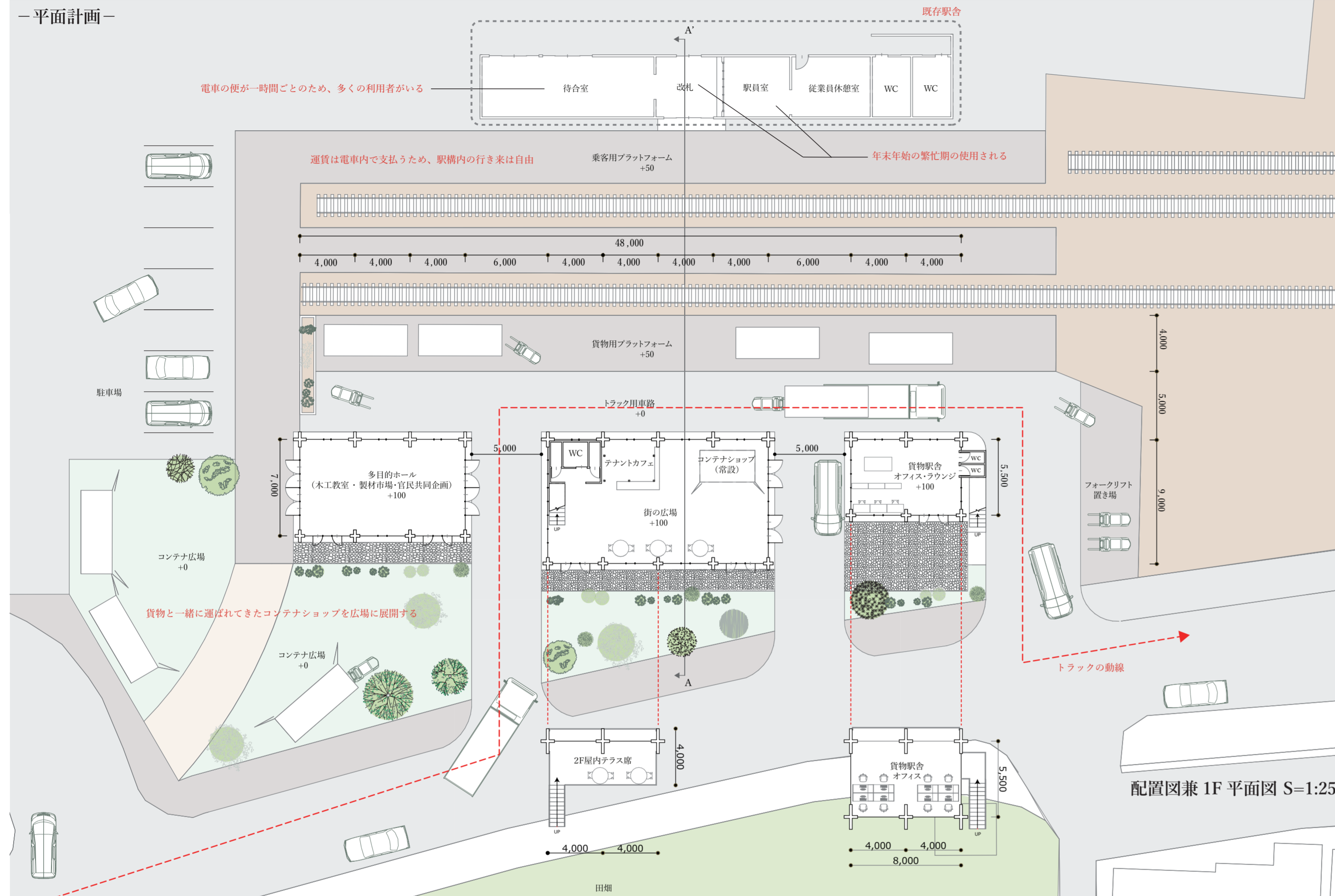
# 04 全体計画

Masterplan

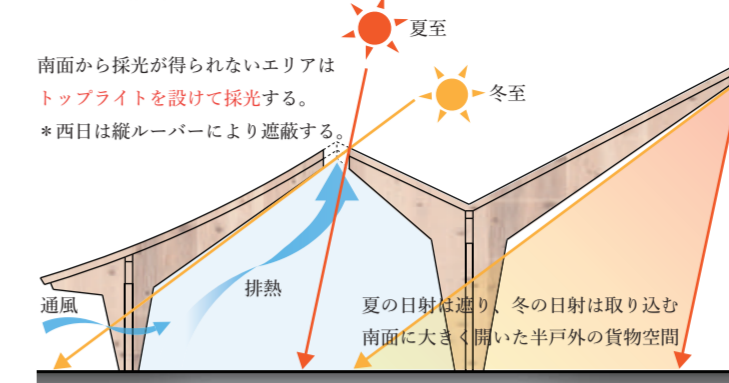
# 05 環境計画

Environmental Design

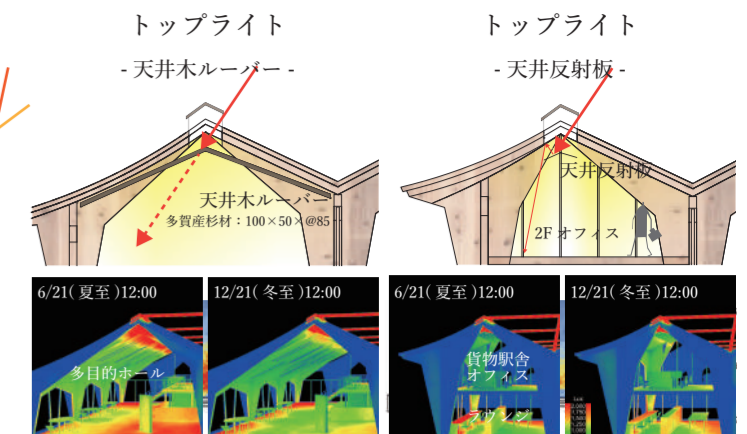
## 一平面計画



## 一屋根面トプライト



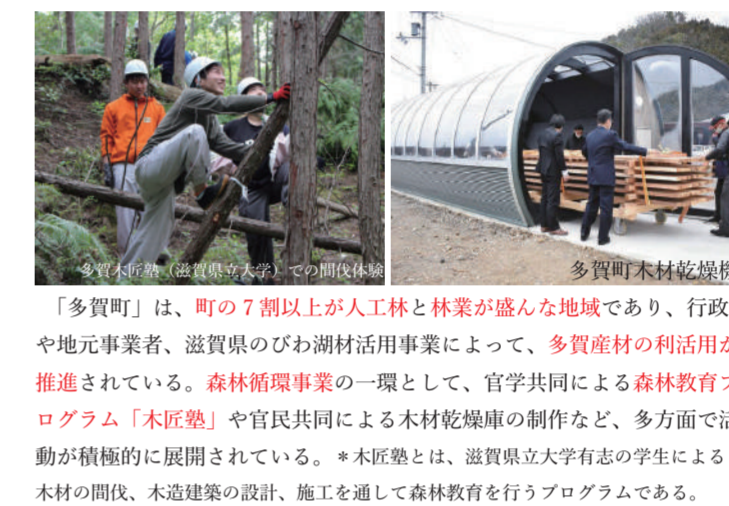
屋根面に覆われた大空間での活動において、必要照度を確保するためのトプライトを設ける。光が入り、風が抜ける外部とシームレスに接続する環境建築を提案する。



南面からの採光が期待できない北側はトプライトによる採光を行う。諸室との関係性から、トプライトと日射制御のための装置を併用して用いることで年間を通した適切な照度環境を実現する。

# 06 多賀町の森林事業

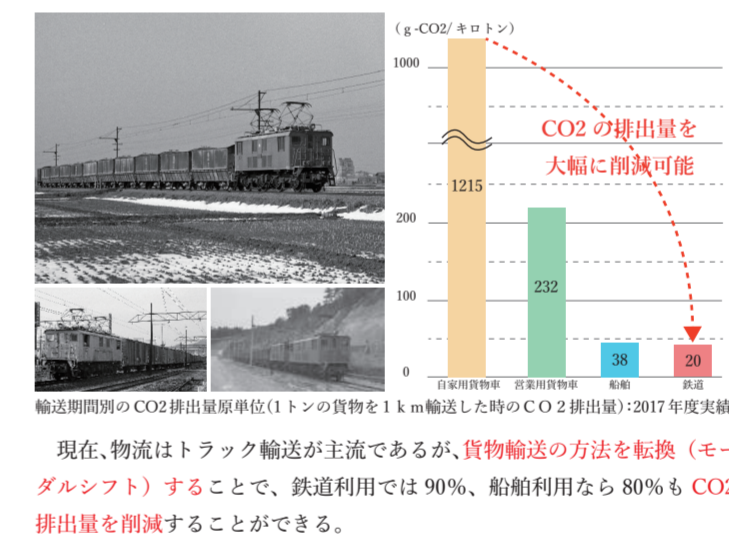
## 一木材利用促進と森林循環事業



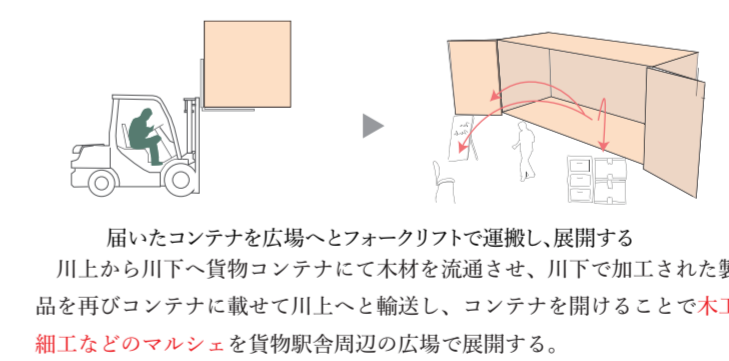
# 07 貨物駅舎として

Station

## 一CLT、地域産材で地域循環を高める

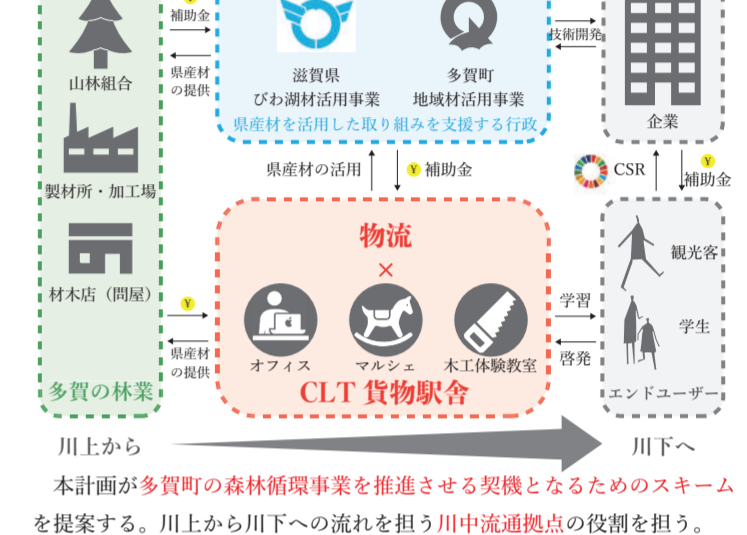


## 一コンテナマルシェ

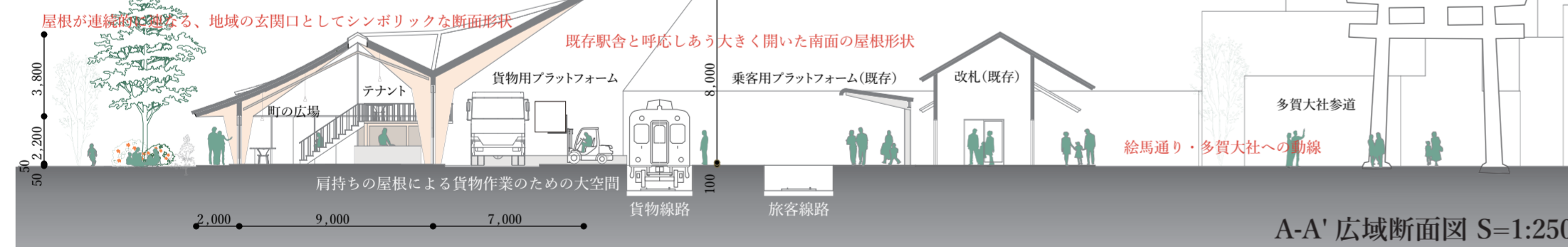


# 08 多賀産材の循環

Circulation



## 一断面計画



## 一柱の接合方法

